

平成 23 年度認定			
 	氏名	藤本 勇 (ふじもと いさむ)	昭和 39 年生
	住所	滋賀県米原市	
	分野	伝統野菜 (赤丸かぶ)	
	技術の内容と活動状況	<ul style="list-style-type: none"> 赤丸かぶは、琵琶湖沿岸で伝統的に栽培されており、主に漬け物として利用されることが多い。冬の寒風により霜降状の赤いサシが入り、しゃきしゃきとした歯ごたえのあるのが特徴。この赤みは同じ種子を他で栽培しても出ないといわれる。 氏は、伝統的な栽培方法を基本にして、伝統野菜本来の姿を追求し、優良な個体からの種子を採取することにより、種の劣化防止に努力。琵琶湖の環境保全に配慮した栽培方法を実施している。 収穫量が少なく希少価値を生んでいるが、氏は面積の拡大に向けて関係者と連携して新規生産者に種子を分配するなど指導的役割を担っている。地域では伝統野菜の種の保存とブランドを守ろうとする機運が高まっており期待は大きい。 	
	相談・指導に応じられる分野	<ul style="list-style-type: none"> 近江の伝統野菜の一つでもある「赤丸かぶ」について、土づくり、排水対策、栽培管理、販売についての相談や指導、生産組合等での現地（米原市内の湖岸地域に限る。）講習会講師の要請に対応している。 新規就農者への技術指導や経営指導、地元小・中学生への郷土学習、農業体験等でのアドバイザー。 近江の伝統野菜の紹介者として報道機関等の取材受け入れにも応じている。 	
	国・都道府県・中央団体等の受賞歴		
	主な役職		
	最近の活動状況	各関係機関主催の展示商談会・アグリ EXPO へ出展し、広く PR している。	
	HP	JA レーク伊吹特産物の紹介 http://www.ja-lakeibuki.or.jp/agriculture/products.php	